

第1回 中央市学校再編に向けた地域検討会議(豊富小学校) 議事録(概要)

1 日時 令和6年8月22日(木) 19:00~20:30

2 場所 中央市立豊富中央公民館

3 出席者

・委員(15名)

・教育委員会(教育長・委員(4名)・事務局(6名))

欠席者

・委員(7名)

1. 開会

2. 市教育委員会あいさつ(教育長)

3. 会長の選任

4. 会長あいさつ

5. 議事

① 市教育委員会説明

教育長から、配布されている資料の中央市の学校のあり方に関する提言書(学校施設の最適化について)について説明。

② 質疑応答

会長(進行) ・ご質問等あるか。

会長 ・説明のあった提言書についてだが、20ページの4 中央市の今後の学校のあり方に関する提言の(2)①にある、全学年において単学級となると見込まれる小学校とはどこか。

教育長 ・玉穂南小学校がまず10年先に単学級に、今後、三村小学校についても、国立社会保障・人口問題研究所(以下:社人研)の人口推計結果によると、単学級になってしまうと見込まれている。

委員 ・市の方では、まだ何も決まっていなかったが、今後、豊富小はどうしていくのか方針等はあるのか。

教育長 ・豊富小は単独でやっていくという計画になっていて、普通教室の改築を実施した。しかし、今後、大幅に児童数が減少する見込みのため、意見を伺いたいと思っている。

委員 ・どの程度まで児童数が減少したら運営が難しい、というような基準を示してもらった方がわかりやすいので、指針を出していただけたらと思う。

事務局 ・別紙資料にて、市内小学校の学校基本調査による児童数、社人研の児童数の推計をまとめたグラフについて、説明。

- 教育長職務代理 ・何名以上に減少したら運営ができないというはっきりした基準は把握していないが、単級の学校のメリットもあるがデメリットもあることは間違いがない。あまりに児童数が少ないと1年と2年が同じ学級というような複式学級になってしまうこともある。ある程度の児童数がいて、多様なものの考え方があり、多くの学びがあるということが令和の学校の進む方向だという傾向がある。また、自分の経験から、少人数で小さい学校の場合、一度不登校となってしまうと、登校に復帰するのがなかなか困難であるという感覚がある。
- 委員 ・自分が子供だった時に母校も同じような問題に直面した。(身延地区)小規模校の場合、確かに友達を選べないが、結びつきや先生との距離は近いと感じた。そういった面で良かったと個人的には思うが、高校に入った時に一気に生徒が増えて、圧倒された部分があり、このなかで落ち着いて勉強に取り組めるか不安もあった。今の豊富の子供達もその不安はある。気になっている点としては、豊富小は人数が少ないということもあるが、学年によっては落ち着きがない学年がある場合に教師の数が足りず対応しきれないという話も聞いているので、是非統合して欲しいということではないが、その辺の考慮もしてくれればと思う面もある。
- 教育委員 ・小さい学級であるほど、結びつきが強くなって人間関係が固定化してしまうため、ある程度人数がいた方が、バランスが取れる。また小規模校だと一度決まった男女比の割合は選べなくなってしまう。また、教員の配分はどうしても少なくなってしまうという問題点もある。ただ市の方でも、教育支援員などは改善に向けて他の市町よりも多いのではないかと思うので、市としては、かなり子供達に寄り添っているのではないかと言える。ただし、どうしても統合された方が教員の数が多くなるというのは致し方ない。
- 会長 ・確かに教員(支援員)の数は、どちらかというとしの方で手厚い支援をしていたいただいていると感じている。
- 委員 ・豊富小の人数減は顕著に感じている。密接な人間関係を築くことはできて良いことだとは思っているが、話に出ているように色んな意見に触れて育て欲しいと思っているし、ちょっとしたことで学校に行けなくなったというようなことで、大人数で囲まれた場合の負担は常にあり、子供にとって何が良いのか最優先したい。
- 教育長 ・仮に三村小と玉穂南小が統合されることとなった場合、豊富小がその時に一緒に入っていくのか、小規模校で行き届いた教育を受け、児童数が減少してから統合に向けて考えていけばよいのではないかという二つの意見があると思う。今は単独のメリットもあるし、デメリットもある。ご意見を伺いながら決めていきたいと考えている。
- 会長 ・単独でいくのか、玉穂地区が合併となった場合に、その時に一緒に考えていくのがよいのか、ご意見を伺いたいがいがかが。
- 委員 ・事務局から説明を受けた資料やデータを見ていると、このような議論になることは致し方ないと理解できる。今日は最初の会議なので、結論を出すという話にはならないと思う。今後もこういった検討会議を開いてもらって、地元理解を得ながら検討していった欲しいと思う。

- 教育委員
- ・こういった問題を考える時には、とにかく子供のことを第一に考えて、何が一番良いのか、どういう環境を整えて、どのような人間に育てるのが一番良いのかを考えていかなければならない。夢を実現できる人間に育ってってもらいたい。今、三村小、玉穂南小が統合するかどうかの検討をしているなかで、今後の豊富小のあり方を検討することは良い機会なのではないかと思っている。個人的な意見となるが、ある程度たくましい子供を育てるには、人数がいて、競争力のある人間に育って欲しいとは考えている。
- 教育長
- ・今後の方向性を決めるのは、あくまでこうした地域検討会議のなかで決定して欲しいと考えている。教育委員会主導では良いとは思っていない。教育委員会では意見を聴いて、多くの資料を提供し、協議をしていきたいと考えている。豊富小は設備的には新しく単独でも運営できるので、この検討会議で協議して欲しいと考えている。
- 会長
- ・教育委員会は情報提供をするので、学校のあり方を決めていくのは地域で決めて欲しいと考えているということではよろしいでしょうか。
- 委員
- ・山梨市の学校で勤務していた際に、4つの学校が小規模校になって、そこを統合したらどうかという案が出たが、3校は統合したい、1校は単独で運営していく予定だった。3校の統合の話が進んだ時に、私が所属していた残りの1校はどうするのか、これでよいのかと慌てたという経験を思い出した。また、今の保護者の意見も聞いたが、就学前の保育園の保護者の意見を聞いた時には統合して欲しいという意見が多かったと思った。地元の大人達は学校を残したいという思いがあったようだが。
- 委員
- ・統合であれ、単独であれ、人口は減少していくという方向だが、子供ファーストということを考えると、子供に良い環境を整えてあげるという考え方も正しいと思うが、良い環境ではなく、不自由な環境で課題を与えるということも、生きる力を育むためには必要ではないかと思う面もあるため、何が子供ファーストなのかも考えて欲しい。
- 委員
- ・大変答えを出しづらい課題かと思うが、今回初めての会議ということもあるので、まずは配布された資料を見て、現状を知ることができたと思う。豊富小は新しい校舎ではあるが、20年後のことを考えなければならないと思う。単独に進むとなった場合もICTを活用すれば授業の受け方は工夫できると思う。今後もまずは協議を重ねることが必要であると考えている。個人的に感じている話をするが、豊富小の子供が玉穂中に行った時に環境に順応することが難しいということやはり感じている。卒業式に出席していないという生徒がいるので。今回でどうのこうのではなく、視野を広げて今後もこういった会議を進めて欲しいと思う。
- 教育委員
- ・自分の子供の話をさせてもらおうと、上の子2人は、当時の豊富小も2学級あったので中学校でもあまり不安がなかった。下の子は単級だったので、中学校のクラス替えに不安を感じていたように思う。また、人間関係につまずいて通えなくなった子もいた。今は三村小と玉穂南小が個々にあり、3校で中学校に上がってくるのでまだいいが、もし三村小と玉穂南小が統合した場合に、豊富小が単独だった場合は、中学校からの環境に順応できるのかとても不安に思う。統合を進めているというわけではないが、地域の意見をたく

さん聞いて決めていって欲しいと思う。小さい学校で大きな学校の環境整備は難しいが、大きい学校であれば小さい学校の指導はできるとは感じている。

委員 ・学校を施設的に見ると長寿命化改修工事では、あまり令和の教育に対応していくことは難しいのではないかと感じている。豊富小は良い環境だが、児童数が少ないのでいろいろな意見を練り上げていくということは難しい。やはり2、3学級あると多様な意見がある。私も豊富小の出身なので地域のことを考えると思うところはあるが、少人数だと人間関係につまずくと大変辛い1年になってしまうという面もある。

委員 ・自分も豊富小の出身で、このような問題に直面していることは率直なことを言わせてもらおうとショックだった。十分に検討して納得いくかたちを子供ファーストで進めていければ良いと考えている。

委員 ・豊富小に赴任して7年になるが、その前は玉穂南小にいたので、単級は良いところが多いと思う。ただし、教員が困難な局面になったときに、対応が難しい状況になるとは感じている。一人に複数の分掌がまわってきて、業務が重なった時などは対応しきれなくなると感じた。良かったと思う点の例を挙げると、豊富小での給食は単独で、とても特色があって良かったと思っている。

委員 ・難しい問題だが、近隣で豊富小よりも小規模な学校も頑張っているんで、単独で運営して欲しいと感じている反面、不登校になった方が復帰することが難しいというのは小規模校のデメリットだと思う。また統廃合となると、距離的な面で大変になってくるので少しでも負担が軽くなるよう市の方でも考えていって欲しい。

委員 ・出席者の方々のメリット、デメリットを聞いているが、やはり協議を重ねていくことが一番大切であると感じた。運営協議会で豊富小学校の見学をさせてもらったが、先生達もICTを活用し、細かなサポートができていて、学校全体で協力し合うという姿勢が見えて小規模校のメリットを感じた。また保育園児も減っていているなかで、保育園の隣に小学校があるため、卒園生が顔を見せてくれたりして、成長をみることができ大変嬉しく思っている。

委員 ・今回、自治会長の代理で出席して、一市民という立場で色々な意見を伺ったが、小中学校の頃を思い出すと1学年400人10数クラスという規模でやってきて、自分なりに工夫して環境に溶け込んだという経験もあり、人数が多いと合わなかった子供、先生とのつながりも切れるので、いいのではと思う。もちろん議論を重ねていくことは必要だが、大は小を兼ねることはできても小は大を兼ねることは難しいと思うので、個人的には統合に賛成である。

委員 ・検討を進めていくに当たって、もっと事例が必要ではないかと感じる。先進的な事例を紹介して欲しい。事例を検討すれば小中一貫校という考え方も出てくると思うのではないかと感じている。

会長 ・今日は第1回目なので、当然結論は出ないが、いろいろな意見が聞けて良かったと思う。子供達にとって何が一番なのか考えていきたいと思ってい

る。いずれ豊富小学区でも方針を決定していかなければならない。また会議を重ねていきたいと考えているので今後もぜひ出席していただきたい。

教育長

・今後の進め方としては、次回予定されている学校運営協議会のなかで今回の会議の趣旨を伝えていただき、またこういった協議を進めていきたいと考えているが、いかがか。

会長

・皆様にご協力をお願いしたいと考えている。

6. 閉会